（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和８年度　学校自己評価システムシート（県立秩父特別支援学校）

目指す学校像	児童生徒同士の学び合い、教職員同士の学び合いを推進する学校 児童生徒が心身共に健康で、持てる力を発揮できる学校 児童生徒が将来への自信や生きがいを感じ、自立（自律）できる生活力を育成する学校 児童生徒と教職員・地域が、元気で笑顔の絶えない、共に暮らしながら成長する学校

重点目標	１児童生徒一人一人の障害の状態や特性及び教育的ニーズを的確に把握し、個に応じた自立活動の視点を踏まえた集団及び個別の授業を実践し、専門性を向上させる。 ２保護者・地域・学区域の学校及び関係機関等との連携を図り、特別支援教育の理解啓発と協働を通して「地域と共にある学校づくり（コミュニティ・スクール）」を推進する。 ３児童生徒の安全を確保し、児童生徒自らが生涯を通して、健康に生きる力を身につける教育活動を展開する。

達成度	
A	ほぼ達成（８割以上）
B	概ね達成（６割以上）
C	変化の兆し（４割以上）
D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（　２月　１日　現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	・自立活動部と各学部が連携をして、指導に当たっている。今年度は更に連携を図りながら、児童生徒の個々の課題を明確にして指導支援にあたる。	指導支援の専門性の向上	①NCプログラムや太田ステージ等を活用した実態の把握。 ②教育支援プラン・自立活動の指導計画のチームとしての作成	①的確な実態把握を実施することができたか？ ②教育支援プラン・自立活動の指導計画をチームとして作成することができたか？				
	・これまで積み重ねてきた指導の蓄積があり、「秩父スタイル」は浸透をしてきている。今年度はそのうえで更に、児童生徒の個々のニーズや特別支援教育の理念の浸透を図るべく教職員の専門性の向上を図る。	研修会の主体的参加	①児童生徒の個々のニーズを把握し、その目標の達成のための支援方法等の研究や研修を実施する。 ②特別支援教育の理念の浸透を図るための研究や研修を実施する。	①研修を実施し、専門性の向上を図ることができたか？ ②研修や研究を実施し、特別支援教育の理念の共通理解を図ることができたか？				
2	交流及び共同学習や支援籍学習、現場実習等をとおして地域とつながり、コミュニティ・スクールとしての取り組みを推進する。	コミュニティ・スクールとしての取組	①交流および共同学習の実施をとおし、同世代の児童生徒との交流を図る。 ②交流および共同学習や現場実習などの取り組みをとおしてコミュニティ・スクールとしての認知度を上げる。	①交流および共同学習を年○回実施することができたか？ ②コミュニティ・スクールとして地域に貢献をすることができたか？				
	地域の特別支援教育のセンターとして、本校の情報を積極的に発信をし、連携活用を促す。	情報の発信	①地域の特別支援教育のセンターとして情報をHP等で積極的に発信をする。 ②援籍・高校通級等をとおして、地域のセンターとしての役割を担う。	①HPの年間の更新回数を150回以上実施し、アクセス数を年間20万件を超えることができたか？ ②児童生徒のニーズを踏まえ活用を調整することができたか？				
3	これまで実施してきた安心安全な学校運営を再点検し、特に緊急時の対応について全職員が当事者意識をもって取組む。	安全、安心な学校運営	①健康教育部を中心に熱中症対策等を実施する。また、今年度は運動会を1学期に実施し、水泳指導を2学期に実施する。 ②緊急時対応訓練（捜索・救急救命・引き渡し・不審者対策・避難訓練）を実施し、実際を想定した質の高い訓練を全職員で実施する。	①行事の日程変更を実施した結果について検証を行う。 ②様々な緊急時対応訓練の反省をとおして次年度に引き継いだり、実際を想定した訓練を実施することができたか？				
	児童生徒が自身の好きなことを見つけて、主体的に行動に移したり、何かに挑戦をしようとする姿を学校全体で応援できる健康で笑顔あふれる学校運営を実施する。	児童生徒の主体的な行動	①児童生徒が主体的に行動に移すことができるようなか関わりや仕掛けを学校での教育活動をとおして実施する。 ②児童生徒・教職員のトライ＆ラーンを応援する学校の雰囲気づくりの醸成。	①児童生徒の主体的な行動や活動が増えたか？ ②児童生徒・教職員が何かに挑戦をする事が増えたか？				